

2 多度山・多度大社周辺地区

(1) 地区の現状

本地区は多度山、多度峡、多度川などの豊かな自然環境に恵まれ、多様な種類の野草や薬草が自生しています。また、多度山は、手軽にハイキングを楽しむことができる山で、山頂からは御岳山から伊勢湾までの眺望を楽しむことができるなど、桑名市のシンボルとなっています。

また、地区には多度山をご神体に行っている多度大社があり、この門前町としてのまち並み、神事や祭事などの歴史的、文化的な資源が豊富に残っています。

さらには、温暖な気候と丘陵地が多いという特性を生かし、柿やみかんなどの農業が営まれ、収穫体験ができる観光農園もあります。

(2) 地区の課題の整理

① 保全すべき緑地

・多度山は、林業の相対的な低迷、生活様式の変化に伴う人と山との関係の希薄化、松枯れの発生などにより、環境面、景観面で荒廃化が進むとともに、サル等の獣害が深刻化しており、豊かな自然環境の保全、再生、美しい景観づくりなど、適正な保全・管理に努めていくことが求められます。

② 緑化が必要な場所

・多度大社、多度山を中心に年間約120万人の観光客が訪れていますが、多くは神事や祭事の時期に入込みが集中していることや、まちを回遊せずに帰ってしまう観光客が多いことなどから、まちの賑わいが失われています。そこで、多度山、多度大社、多度峡、多度川、まち並みなどが持つ地域資源を磨き上げ、より一層の魅力向上を図るとともに、回遊性を高め、歩いて楽しいまちにしておくため、これらの地域資源をつなぐ多度山のハイキングコース沿い、多度大社、多度峡などをつなぐ遊歩道や多度川沿いへの緑化の推進を図ることが求められます。

・農地等を活用した市民農園など、集客のできる魅力ある緑地の確保や緑化の推進が求められます。

・土砂の採取により緑地が減少していることから、災害面での危険性などが懸念されており、土取跡地においては植樹などによる適正な緑地の回復が求められています。

(3) 地区緑化の基本方針

① 四季の彩りを楽しむことができる多度山への再生

・サクラやカエデなどの植栽、枯れたマツの伐採、眺望を妨げる樹木の伐採などを実施しながら、四季を通じて様々な彩りを楽しむことができる多度山への再生をめざします。

② 緑の拠点づくり

・農地や水辺環境を生かし、自然体験や農業体験などができる環境づくりを図ります。

③ 『桜と紅葉の回廊』づくり

・多度山のハイキングコースや多度川沿いなどに、サクラやカエデなどの植栽を行なうとともに、まち並みの景観整備などを進め、歩いて楽しむことができる『桜と紅葉の回廊』づくりを検討します。

(4) 地区の緑化目標

① 地区の目標像

・歩いて楽しいまちづくりに向けた『桜と紅葉の回廊』づくり

② 緑化の目標

・市民参加による活動を展開し、多くの人々を魅了する多度山の再生をめざします。

(5) 緑化計画

① 緑地（水辺）の保全・整備

・多度山頂でのサクラの植栽、果樹園の再生など、多様性と魅力ある多度山にするため、地権者の協力を得ながら伐採、植栽、林床管理など市民や企業を主体とした活動の支援・実施を検討します。

・多度山の再生や『桜と紅葉の回廊』づくりを行う活動拠点となり、ハイカーの利便施設を検討します。

・多度峡及び多度川等の水辺を保全しつつ、河川環境の美化や多度川堤防沿いや遊歩道沿いなどの緑化に努めます。

・多度川の上流の希少な動植物の生息環境の保全・改善に努めます。

② 公園の整備・充実

・多度駅と多度大社の中間地点に、来訪者等の休憩やイベント等の実施を目的とした広場の整備を検討します。

・農地を活用し、市民農園など農業体験等のできる施設の整備を検討します。



多度大社